

MUSASHI ONOJI JO

【武蔵】小野路城

【築城時期】不明
【廃城時期】不明
【使用した勢力】扇谷上杉氏？
【主な城主・城代】—
【所在地】東京都町田市小野路町

文明9年(1477)に起きた長尾景春の乱に際して、扇谷上杉軍は武蔵の「小山田」に中継拠点を置いていたが、景春軍の別働隊により陥落したことを太田道灌が記録している。この小山田の中継拠点到比定できるのが、小野路城である。城は、尾根と谷とが複雑に錯綜する丘陵地帯の一面に築かれていて、尾根道の結節点にあたっている。曲輪を単位として縄張が構成される戦国後期の城と異なり、土塁や堀で囲まれているのは中心部のみである。周辺には自然地形の平坦面や緩斜面が広

がり、尾根先や鞍部などに堀切・切岸などを設けて防戦ポイント(「切所」という)としている。このため、一見すると城域は広大に思えるが、実際に必要な守備兵力はわずかである。

戦国初期の城であるため、守備隊が兵種別に編成されておらず、家ごとに部隊を構成する情景としている。守備兵も弓や薙刀、短い鎧を携えていることに注意されたい。

監修・文=西股総生

(初出:「歴史群像」157 2019年10月号)



SHIMO
【下】
【築城時期】
【廃城時期】
【使用した】
【主な城主】
【所在地】